

名称等	コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞の受賞について
担当	沼津市 都市計画部 まちづくり政策課 直通 055 - 934 - 4760 内線 2573

1 内容・経緯

沼津市立地適正化計画が、第2回コンパクトなまちづくり大賞において、コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞を受賞しました。

2 コンパクトなまちづくり大賞について

コンパクトなまちづくり大賞は、地域の創意工夫のもと、コンパクトなまちづくりを推進し、他のモデルとなるまちづくりの取組事例を表彰し、全国に紹介することを目的としたものです。

3 主催・後援

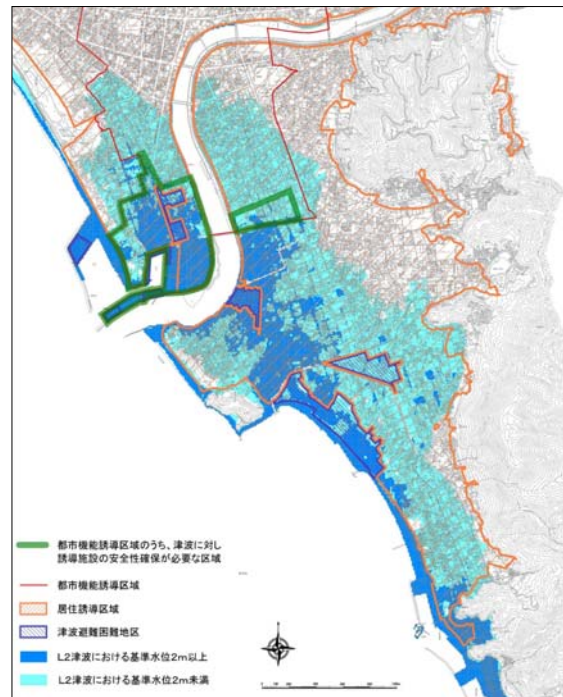
主催：コンパクトなまちづくり推進協議会、一般財団法人都市みらい推進機構
後援：国土交通省

4 受賞理由

立地適正化計画策定にあたり、特に沿岸部での津波などの災害リスクへの対応が課題となっていました。安全・安心のまちづくりを進めるべく、並行して津波対策計画の検討が進められ、津波避難困難地区の設定、日常生活圏である中学校区を単位とした津波避難計画の作成等について、市民による避難行動ワークショップを3年継続して実施することにより市民の理解を深めるとともに、これらの成果を居住誘導区域の設定等に活かしています。こうした、丁寧な取組が評価されました。



避難行動ワークショップの様子



津波避難困難地区を居住誘導区域から除外

第2回 コンパクトなまちづくり大賞 受賞一覧

【総合戦略部門】

賞	都市名	概要、受賞理由
国土交通大臣賞	富山市（富山県）	富山市では、早くから公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりに取り組んできており、路面電車の延伸等により都心地区や公共交通沿線居住推進地区の人口の転入超過が続く等の成果をあげている。また、令和2年3月路面電車南北接続事業の完成を控え、『とほ(富歩)活アプリ』(歩数、公共交通利用、イベントの通知や参加等によるポイントの取得等)の開発・運営により、公共交通の利用促進、歩くことによる健康増進(予防医療)、賑わいづくりのきっかけを提供する取組等、分野横断的な施策が展開されている点が高く評価されました。
コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞	沼津市（静岡県）	立地適正化計画策定にあたり、特に沿岸部での津波などの災害リスクへの対応が課題となっていた。安全・安心のまちづくりを進めるべく、並行して津波対策計画の検討が進められ、津波避難困難地区の設定、日常生活圏である中学校区を単位とした津波避難計画の作成等について、市民による避難行動WSを3年継続して実施することにより市民の理解を深めるとともに、これらの成果を居住誘導区域の設定等に活かしている。こうした、丁寧な取組が評価されました。

【個別事業部門】

賞	地区名・都市名	概要、受賞理由
国土交通大臣賞	道後文京地区 松山市（愛媛県）	道後温泉地区の新たな温泉施設の建設と、高次医療施設の現地建替え、関連する基盤整備を実施するとともに、その効果を発揮するための複数の事業を展開し、観光客数や温泉宿泊者数、中心市街地の人口、電停利用者数、歩行者交通量等の目標を達成しつつある。今後、医療施設の令和3年度竣工、併せて道後温泉本館保存修理工事の令和6年度完了等により、松山市の医療・教育の中枢を担う地域としての発展と、地域資源を活かしたさらなる賑わいの創出が期待できる点等が高く評価されました。
都市みらい推進機構理事長賞	野々市市中央地区 野々市市（石川県）	学校跡地の活用による文化交流拠点(図書館、市民学習センター)の整備と、旧施設の建替えによる地域中心交流拠点(公民館、市民活動センター、商業施設)の整備を主とするものであるが、施設の整備手法や運営方法に工夫をこらし、近隣市町からの利用を含め交流人口の増大とまちの賑わい創出につながりつつある。加えて、これらの施設を核とした、旧街道沿いの街並みや文化財等の地域資源を活かしたまちづくりへの展開等が期待できる点が評価されました。